

鶴ヶ島市附属機関会議録

【開催概要】

会議名	令和５年度第４回長久保小学校学校運営協議会
日時	令和６年１月２５日（木曜日） １３時３０分～１５時３０分
場所	長久保小学校 研修室
議題	(1)本校の教育について (2)学校評価について (3)意見交換
配布資料	令和５年度鶴ヶ島市立長久保小学校運営協議会資料 令和５年度学校評価のまとめ
公開・非公開	公開
傍聴人数	０人
会議要旨	１. 本校の教育について ２. 学校評価について ３. 意見交換

【議事概要】

議 題 （ １ ）	本校の教育について
< 校 長 >	新しい年になった早々から、大変なことが立て続けに起こった。あらためて普通に生活できることのありがたみを感じているところである。 この後、学校評価について話し合いをしていただくが、まとめから思うことをいくつか述べさせていただく。 ◆生活面 ①あいさつ 毎年同じような結果になってしまうが、子ども達は「できている」と思っているが、地域の方々からは「もう少し」という意見が出ている。どこまでのレベルを求めるかというところに違いが出ている。「誰にでも」ということを要求しても、子ども達は「知らない人には声をかけられても返事をしない」と教えられているので、なかなか難しい。特に低学年は保護者や担任の先生以外は「知らない人」と思っていたりするが、地域の人（自分は面倒を見たりしているので）「よく知っている」と思っていて、そこが難しいところであり、課題である。ほかの学校からくる人 ②学力 ア 特に表現力に課題がある。全国学調などで「～という条件で〇〇字

	で書きなさい」などの問題があるとかけない子が多く、課題がある。それについてはすでに高学年等で「読みときシート」への取組を始めている。その効果測定についてはまた次の年になってくる。 イ 計算についても、案外できない子が多い。繰り上がり、繰り下がりですまづいてしまい、できなくなっていく子も結構いる。2年生は今、かけ算をがんばっているが、その時はよくできるものの、日がたつと忘れてしまう子も案外いる。 本校が目指すのは「文武両道」。学力をつけるということは、ただ勉強ができるということではなく、学びに向かう力も含めた野太い学力である。 ③ICT 各学級ともよく利用していると思う。課題としては、よく使う分、故障も多いということ、学習以外の用途で使ってしまうことである。使い方だけではなく、ルールもよく学ばせていかなければならないと思っている。 ④学校での安心・安全について 安心・安全のために様々な調査もしている。直近のものとしては体罰調査を行った。今年度は体罰だけではなく、わいせつ関係も含めている。 また、QUテストも行っている。5、6年生の2回目に関しては非常に良い結果となり、人間関係がよくなってきたり、学校生活が落ち着いてきたという傾向が見える。 いじめ防止については計画的に調査をして早期発見に努めている。また、もしいじめが発見された場合には組織的に取り組み解決を目指している。また重大事態と認定する場合は組織で迅速に対応していく。
令和5年度学校評価について ＜教 頭＞	・令和5年度の学校評価結果について説明。 ・それぞれの項目についてざくばらんに意見を伺いたい。
	①学校教育目標・教育方針について
＜A 議員＞	・全体に関わることでもあるが、先生方が控えめに評価しているように感じる。もっと自信をもって評価してもいいのではないか。 - また保護者の評価が低いが、子ども達はがんばっているのだからそれ

	をもっと伝えていくといいのではないか。
< B 議 員 >	・学校教育目標を知らないと答えている保護者が多い。周知の方法としてC 4 t hで送るなども使っているのではないか。
	②学級経営について
< A 議 員 >	・児童の評価で「楽しくない」と答えた子に対しては、そう思う理由を追求してみてもいいのではないか。
	③学習指導について
< B 議 員 >	・学び合いについて…以前は「発言を聞くときについては人の顔を見て」だったが、今日の授業を見ているとタブレットを見ながら声だけ聴いている子も多かった。担任の声掛けでタブレットを操作する時、やめる時のバランスをとっていくことが大事。
< A 議 員 >	・昨年と比べると、ICTを活用していることが増えた印象。
< B 議 員 >	・I C Tを使ったからといって、それで学力がついたのかと思うこともある。たとえば漢字の学習。今は画面をなぞっているだけの感じだが、昔は何回も繰り返して書いて、苦労したから覚えているということもある。
< A 議 員 >	・授業の中でI C T（大型モニター）だけでなく、黒板を活用し、うまく併用できていることがよかった。
< C 議 員 >	④体力について ・子どもサロンの様子を見ていると、子ども達はとても元気。 外遊びも多く、とても運動が好きなのだろうと感じる。
< B 議 員 >	・持久走記録会の在り方について 従来の持久走大会から、持久走記録会に変わったが、いくつか課題がある。1、記録が正確ではないこと。2、ルールを守らない子が案外いるということ。3、頑張りたい子にとってはあまり張り合いがないということ 今後持久走大会に戻すということはないのか。
< 教 頭 >	・現段階では戻す計画はない。実際に公道を走るとなると、安全確保のための人員が足りないことも理由の一つ。
< D 議 員 >	・行事の都度、保護者からボランティアを募ってはどうか。いつもは無理だけれど、この時であれば手伝える、手伝いたいと思っている保護者も案外いる。学校応援団も手伝えると思う。
< 教 頭 >	・ぜひ学校運営協議会が中心となって、学校応援団やP T Aにも呼び掛けてもらいたい。
< B 議 員 >	・持久走大会にかかわらず、保護者が学校に応援に来ることができるようにしてもらいたい。

< E 議員 >	⑤生徒指導について ・児童の評価で「あまりそう思わない」「そう思わない」と答えている子が結構多いのが心配。学校や家では言えなくても、児童館などに来ると「ねえねえ聞いて。今日は～があったんだよ」と話をしてきて、話せたことですっきりして帰る子もいる。そういう場も必要だと思う。
< 教 頭 >	・児童が先生と安心して困ったことを相談できる関係を作っていけることが第一の課題であると思っているが、ぜひ地域にも受け皿になっていただいて、学校も地域も一緒に子どもたちを育てていけるといいと思っている。今後も引き続きご協力いただきたい。
< B 議員 >	⑥特別支援教育 ・保護者から聞いた話だと、特別支援学級の子達は関わる人が変わるだけでストレスがかかる。継続的に関わってくれる人を求めている。
< B 議員 >	⑦地域とともにある学校 ・地域との連携という点で自治会や地域のお年寄りと接する機会が増えるといいと思っている。また支え合い協議会とも協力できるといいと思っている。
< B 議員 >	⑧働き方改革
< B 議員 >	・C 4 t h の連絡帳アプリは便利。
< A 議員 >	・I C T の活用等が盛んになるのはいいと思うが、それによって新たに先生方の研修等が増えたりはしないのか心配。人海戦術で協力できるところはしていくつもり。
< D 議員 >	・学校応援団の団員募集について、現在は地域あてに自治会の回覧板で周知しているが、回覧だけでは弱い気がする。自治会に加入していなければ見ることがないので。
< B 議員 >	⑨その他 ・タブレットの導入とともに子ども達の視力低下が心配。ブルーライトカットの眼鏡は使用してもいいのか？